

4月20日（土） 21日（日）

関東大会に向けた県東地区予選等に応援に行きました。

主な感想は顧問の先生よりいただきました。残念ながら全部の会場はまわれませんでした。ご了承ください。なお、詳細等は各部のホームページ等でご確認ください。

○ソフトテニス（4/20・21 於 神栖海浜公園テニスコート）



結果

男子個人の部（４回戦）

出頭・横尾ペア 県大会出場

男子団体の部

Aブロック予選リーグ

波崎０－３鉾田一

波崎２－１鉾田二

決勝リーグ

波崎２－１麻生

波崎２－１玉造工

３勝１敗で第２位として県大会出場

団体戦では鉾田一戦以外は接戦であった。鉾田二，麻生，玉造工戦は一番手大将の出頭・横尾ペア３勝，２番手作田・鵜川ペア３敗，３番手寺嶋・岡野ペア３勝。今回の男子団体は，何年ぶりの県大会出場である。おおきな原動力となったのは出頭・横尾ペアはもとより，２年生の寺嶋・岡野ペアの活躍なくして県大会出場はできなかった。日頃の努力の賜物と感じる。久しぶりの団体出場なのでチーム波崎として総力を結集し初戦突破を目指したい。

○ハンドボール部





平成31年4月20、21日に行われた関東高校ハンドボール大会県東地区予選会は県東地区5校で行われ、波崎高校は2勝2敗で力及ばず予選敗退となってしまいました。

波崎高校周辺の中学校にはハンドボール部が存在せず、高校入学後も部員全員が未経験者で構成されており、その中で先輩から後輩へと自身が学んだ技術を伝え、試行錯誤しながら前進しています。

○男子バレーボール





結果

準々決勝

波崎 2－0 玉造工

準決勝

波崎 2－0 鹿島

決勝

波崎 2－0 鉾田一

県東地区優勝

主将である3年吉川がチームを牽引し、メンバー全員が躍動した。選手全員が臆することなく勝負し続けたことやOB、OG、保護者、女子バレー部員などの応援を受けチーム一丸となることができた。今後はサーブ・サーブレシーブの精度を上げ県大会で最高のパフォーマンスを出してきます。

高校生になってからバレーを始めた部員の多いチームではあるが、それぞれが活躍できる場を考え活路を見出していきます。

○女子バレーボール



結果

ｂ ブロック

波崎 0－2 麻生

波崎 2－0 潮来 ブロック 3 位で決勝トーナメントへ

決勝トーナメント

波崎 0－2 銚田二

プレッシャーのせいか、普段の力を全く出すことができずに1日目が終わった。2日目「大きい声で騒げ」と指示をして少々良くなったが、最後まで思い切りプレーができなかった。あと1ヶ月半。いつものサーブといつものサーブレシーブができるよう心を整えるよう気をつけたい。

○空手道



木村（左青）、山口（右赤）



城之内（右青）



森（形）



城之内（形）

結果

女子 形 優勝 城之内優那（２Ｂ）
組手 優勝 城之内優那（２Ｂ）

男子 形 優勝 木村爽一郎（３Ｅ）
２位 森 悠翔 （２Ｂ）
３位 山口拓馬 （２Ｅ）
組手 ２位 木村爽一郎（３Ｅ）
３位 森 悠翔 （２Ｂ）

感想

形に関しては練習通りの演武で男女ともに優勝することができた。組手も全員攻める姿勢をもって取り組んでいた。特に城之内は、自分より大きな相手にも果敢に攻め、ポイントを重ねていた。課題は体力面。組手の後半あるいは、勝ち上がっていくと足が止まってしまった。今後は体力面を強化し、１日戦い抜くことができる体を作っていきたい。

○女子バスケットボール



結果と感想

準決勝

波崎 101－ 82 神栖

波崎は1－2－1－1のオールコートゾーン、神栖高校はハーフマンツーマンからスタート。立ち上がりから波崎のプレスが決まり、3年生のチナミ、ミナミ、2年生のミライが連続得点をし、ペースをつかむ。神栖もパスをつなぎ得点を重ねたが、35対21で1Q終了。2Qに入っても波崎のオールコートは続き得点を重ね、神栖も負けじと得点を重ね59対47

で前半終了。後半も波崎はオールコートを続け、ファールが増えてきたが神栖のミスやファールを誘い両サイド総力戦になってきた。4Qにはいって、神栖のキャプテンがファールトラブルにより退場、タイムアウトを取りオールコートマンツーマンにディフェンスを変えてきたが3年生ミナミが連続得点を取り差を広げて試合終了。結果を見ると女子には稀な両チームともハイスコアゲームになった。両チームとも走って頑張るところがよく見られた試合展開となり見ているほうは面白いゲームだったと思われる。

準決勝

波崎 51 - 116 麻生

波崎は1-3-1のハーフコートゾーン、麻生はハーフコートマンツーマンでスタート。県東地区で絶対的な強さを誇る麻生ほどのくらい力が通用するかが今回の目的だった。試合展開は1Qから麻生の6番、7番の3Pや4番のドライブで得点、波崎もチナミのジャンプシュートやミナミのドライブで得点するが点差を広げられ11対34で1Q終了。2Qに入りチナミのドライブ、ジャンプシュートは決まったが麻生のメンバーが変わりディフェンスが強固になったことで得点が伸びずに前半終了。後半開始も麻生の猛攻は収まらず、4番と6番の3Pで得点、ミナミがドライブでカウントプレーもするが流れは変わらずそのまま、51対116で試合終了。難しい辛い試合だったが自分たちができることが思ったよりも多いことが分かって収穫が多い試合だった。

3位決定戦

波崎 57 - 59 鉾田二

波崎は1-2-1-1のオールコートゾーン、鉾二はハーフコートマンツーマンでスタート。この3位決定戦が県大会につながる代表決定戦なので負けられない試合だった。1Q、8番エリナの連続得点でリードしたが、5番のカウントプレーで鉾二もやり返し、一進一退の攻防が続き、16対13で1Q終了。2Qに入り、波崎は1-3-1のハーフゾーンに変え、3番ミライのポストプレー、ドライブと得点を重ねるが鉾二も5番9番を中心に得点し30対25で前半終了。3Q、3番ミライの連続得点をしていくが、鉾二の4番と10番の連続3Pで差を詰められて4Qに突入。波崎も負けまいとオールコートゾーンとハーフコートゾーンを駆使してリードし続けたがラストに10番がはなった2本の3Pが4点差をひっくり返し、57対59と惜敗することとなった。今回の大会は今までに実りが多い大会だったので次の大会では必ず目標を達成できるようにしていきたい。

○剣道（4/21 於 神栖市武道館）

結果

団体戦 ベスト 8

個人戦 竹中 ベスト 16

団体戦では2年の向後が2本勝ちをして試合の流れを掴み接戦を制した。しかし、2回戦では鉾田一高に力負けを喫してしまった。普段稽古していることを出そうとしているところや気迫を前面に押し出していたことがよかった。試合経験が不足しているので、今後もしっかりと稽古や練習試合を重ね、県大会初戦突破を目指す。

個人戦は向後（波崎）初戦敗退。 竹中（波崎）2回戦敗退。残念ながら、上位進出することはできなかった。良かったところは、気迫を前面におしだしていたこと。課題は、試合経験が不足していること。GW中に練習試合を行い、実戦経験をつませる。

○柔道



反省と課題

今回は無差別級で個人戦のみ行いました。

軽量級が主体のチームの中で唯一の重量級で有る平松が3位入賞できたことは、練習の成果が出たのかと思います。ただ、準決勝では相性の悪い相手との試合だったので気持ちの弱さが出てしまい思うような展開とは行かず相手の技に圧倒され負けてしまいました。

今回の結果を真摯に受けとめ、インターハイ個人戦においては一回戦でも多く試合に勝てるよう、技の完成度・メンタルの強化を図りたいと思いGWにおいて卒業生7名が参加し強化練習会を2日間開催しました。練習会においてはOB達の力強さに圧倒されていましたが生徒達にとって大変有意義な練習会となりました。